

広報

# やすらぎ

No.115 令和5年3月15日発行

## 真冬のホットなふれあい

### 沢内中学校雪像作り



西和賀町の冬を温かく灯す雪あかりが3年ぶりに開催されましたが、これに合わせてぶなの園で2月9日に行なわれた沢内中学校生徒による雪像作りボランティアも、同じく3年ぶりの開催となりました。悪天候ではないものの、時折吹きつける強風はまさに凍てつく冷たさ。そんな中で1年生と2年生が手分けをしながら中庭の雪山を削り、ウサギをモチーフにした作品を制作してくれました。

スプレーできれいに色付けもされ、多くの雪灯籠が周りに配置されました。窓から様子を見守る利用者の皆さんには、作業の合間に手を振りながら笑顔のプレゼント。寒いはずなのに、それを感じさせず楽しそうに制作していただいた生徒と先生方に、改めて感謝です。当日は風が止まらなかったの翌日の夕方に雪灯籠に点灯し、美しく揺らめく灯りを堪能させていただきました。

あま〜い 宝石

## バレンタイン スイーツ喫茶



すべてが輝いて見えます

2月14日に開催された「バレンタインスイーツ喫茶」。バイキングテーブルには各種ケーキを中心にババロアやゼリーや羊羹など、全14種類のスイーツがところ狭しと並びました。小さめにカットされているので、2〜3個くらいは余裕でペロリ。お好みのドリンクが美味しさを引き立て、とろけるような表情で甘いひとときを堪能されました。ビールを飲みながらという方もおりスイーツとの相性が気になりましたが、満面の笑みだったので悪くなかったのだと思います。



# 興味や得意は人それぞれ

デイサービスでは利用者さんの関心のある事柄を聞き取り活動しています。色鉛筆を何本も手に持ち丁寧に塗っている方、ピースの多いパズルを悩みながら取り組んでいる方、本を熱心に読んでいる方…と様々。全員で体操やゲーム、創作活動もしています。そんな中、デイスペースに響き渡る男性の美しい声。ピブラートの効いたその歌声は、近くを通った人が覗いて見るほど。昔ながらの手遊び歌も、また違った歌に聞こえてきます。

春の訪れを感じさせる歌はたくさんありますが、何の曲からリクエストしようかな♪

## デイサービスぶなの園



手拍子に合わせて美声を披露

# 優しい笑みのでっかいうさぎ

今年「雪あかり in 西和賀」が開催され「かたくりロード」の登録名で参加しました。多くの激励の声をいただきながら作業を進め、完成した作品に当日 17 時に点灯。幻想的な灯りを支援ハウス利用者の方などに楽しんでいただきました。点灯した雪灯りを見られないデイ利用者のために毎年中庭に雪像を作っており、今年の作品は全長 5メートルはある干支の「うさぎ」。窓の外からみんなを見守り、天気によって表情を変えるうさぎは、すぐにみんなの人気者になりました。



完成した雪灯りの作品

■2月の雪あかりの取組みは地域の老若男女28人が集まった。コロナ禍で敬老会も中止となるなど交流の機会が制限されてきたところで、3年ぶりの顔合わせとなった。■前日の悪天候から一転、清々しい冬晴れのなか、下は10歳からまだまだ元気な80代まで雪あかりづくりに汗を流した。小学校に入っただけだった子が、3年たち立派に自分の役割を果たして動き回る姿に目を細める微笑ましい場となった。■恒例の豚汁を囲めなくて残念だったが、一同が集まったの安否確認など地域の話題に花が咲き、夕方の点灯にはみんなが参加し、達成感とその出来栄に酔っていた。■町の人口は五千人を切り、当地区の住民も90人程と減少が進む。隣同士でさえ関心が薄くなっている昨今、地域においては情報を持ち寄ることで寄り添い、子どもたちから元気をもらい、高齢者を敬うことで助け合いが芽生え、社会秩序が出来ていることを改めて感じた。



# 節分豆まき

2023

落花生や甘納豆の小袋を両手に握ってスタンバイ。そう、今年も節分豆まきの日がやってきました。2月3日午後、大きな赤鬼2体が唸り声をあげながら三丁目のホールに襲来。準備万端で待ち構えていた利用者の皆さんは「運いぞ!」とばかりに豆を投げつけました。総攻撃をくらった鬼たちはたまらず一、二丁目のホールに避難。ところがそこは臨戦態勢を整えていた第二の豆まき隊の陣の中。ものすごい勢いで四方八方から豆が飛んできて、力尽きた暴れん坊は号泣して去って行きました。あまりの弱さに物足りなさも感じつつ、見事に成敗した喜びと香ばしい豆の味を楽しんだ利用者の皆さんでした。



強そうに見えた赤鬼たち…

# 福祉のスペシャリストをめざして 岩手県立大学社会福祉学部実習生受入れ

2月6日から岩手県立大学社会福祉学部の学生2名を受入れ、やすらぎ会でソーシャルワーク実習が実施されました。8日間にわたって組まれたプログラムに沿い、各事業所で座学や見学、介護体験や利用者宅への同行訪問なども行なわれ、スケジュールでしたが、国家資格取得や社会福祉に関わる仕事を目標とする二人にそのような表情はありません。町内出身ということあって利用者さんとの会話も弾み、常に笑顔で全日程を修了しています。それぞれから実習を終えての感想を伺ったのでご紹介します。



栄養士による食形態の説明

実習では利用者の強みを活かした支援方法について考えさせられる場面が複数ありました。福祉の現場では、利用者の残存機能を尊重し、自立を促進していくことが必要不可欠です。相手の個性を大切にしながら、その人らしく地域で暮らしていくこと、その生活を専門職として支援させていただくことのありがたみを感じました。西和賀町の人口減少や少子高齢化といった福祉課題の発見のみならず、福祉の楽しさややりがいを実感することができました。



社会福祉学部 2年 高橋愛矢さん



医療処置を見学する実習生



社会福祉学部 2年 高橋敬子さん



喫茶のケーキ作りもお手伝い

今回のぶなの園、かたくりの園での実習では、職員の方の働く様子や施設の持つ意義、目的についてだけでなく、利用者の方々や利用者の家族との関わり方についても学ぶことができました。さらには西和賀町の地域資源とは何か、西和賀町に住む人々が持っている資源や強みとは何かということに改めて実感することができた。これからの実習となります。これからも社会福祉士の資格取得に向けて、大学の授業も頑張ります。今回の実習で関わってくださった皆様、本当にありがとうございました。



あたたかい善意を頂戴し厚くお礼申しあげます

令和5年1月1日～2月28日

【ご寄付】

・高橋 正慶 様

【ご寄贈】

・西和賀町チャリティーショー  
(西和賀町社会福祉協議会様)

【ボランティア等】

・沢内中学校の皆様



西和賀町チャリティーショー事業から各福祉施設に感染予防用品を贈呈くださるとのことで、ぶなの園ではノータッチ式アルコール噴霧器を頂戴しました。町民の皆さんの善意が詰まったこの機器で、しっかり感染予防に努めてまいります。西和賀町社協様、そしてチャリティーショーにご参加、ご賛同いただいた皆様、本当にありがとうございました。



大切に使用させていただきます

あしあと

【1月】

1日 おせち料理  
4日 新年交賀会  
12日 電子錠改修工事着工  
16日 出張理容  
小正月行事  
入所検討委員会  
デイぶな小正月行事  
19日 特養家族懇談会  
21日 広報やすらぎ発行  
25日 在宅第三者委員現場調査  
26日 法人内部監査  
30日

法人の主な動き

【2月】

3日 ちらし寿司  
節分豆まき  
6日 岩手県立大実習開始  
特養第三者委員現場調査  
出張理容  
7日 沢内中雪像づくり  
9日 雪あかり  
11日 バレンタインスイーツ喫茶  
14日 特養第三者評価委員会  
15日 在宅第三者評価委員会  
16日 出張理容  
20日 なたくり第三者評価委員会  
21日

やすらぎ会ホームページ  
最新情報更新中!!

右のQRコードを読み取れば、スマートフォンでも簡単に閲覧できます。ぜひのぞいてみてくださいね♪



<http://yasuragikai.com/>

編集後記

2月後半から温暖な天候が続いており、雪山がみるみる小さくなっています。西和賀にも春がやって来ましたが、「明けない夜はない」と言いますが、3年も続いている長い夜にもスッキリした夜明けが訪れると信じ、待つばかりです。

やすらぎ会広報委員会

中堰 香 藤原江利子  
高橋知英子 石川 大地  
高橋 渉

- 特別養護老人ホーム ぶなの園
- デイサービスセンター ぶなの園
- ホームヘルプステーション ぶなの園
- 西和賀介護相談室  
西和賀町沢内字太田2地割135番地  
電話0197-85-2322 FAX0197-85-2317  
E-mail bunanosono@swc-yasuragikai.or.jp
- 高齢者生活福祉センターかたくりの園  
西和賀町沢内字大野17地割140番地1  
電話0197-85-3388 FAX0197-85-3389